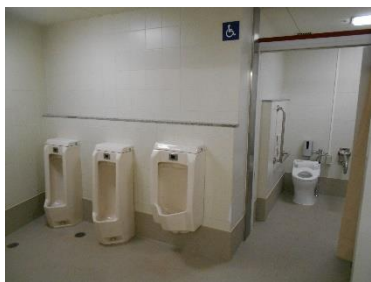


トイレの改修工事

2階男性フロアのトイレの改修工事が終わりました。床材は濡れても滑りにくい材質に変更しました。壁も壁紙タイプからタイルに変更しました。また全ての個室トイレには手すりを設置しました。他にも自動水栓やウォッシュレット機能を完備しました。現在は、2階女性フロアのトイレの改修工事を行っています。工事中は仮設トイレを利用してもらっています。引き続きご理解ご協力をお願い致します。



寄付 お礼

皆さんの手作りマスクを頂戴しました。日々の感染症対策、また、いざという時の備蓄として大切に使用・管理させて頂きます。大変な中、真心からの提供に感謝申し上げます。

新しい看護師

たのたの 田野田 めぐみさん

「いつも明るく元気に笑顔でいる事を心掛けています。頑張りますので、宜しくお願いします」

健康診断(8月21日～10月2日)

終了しました。ご協力ありがとうございました。

11月12日には希望された利用者さんのインフルエンザ予防接種を行います。

創設者 故村井正直氏の法要

10月18日、村井先生のお墓参りをしました。職員同士の交流を深める機会となりました。

【お知らせ】

新理事長からの ごあいさつ (No.2)

今回は自己紹介に紙面を割きました。今回はこれからのわらしべ会の活動について少しお話をさせていただきます。

まず法人の活動をいろいろな形で情報発信していきたいと思っています。平成28年7月26日わたしたち福祉施設で働く職員にとって忘れられない事件が起きました。津久井やまゆり園の事件です。犯人の動機に国民は憤りを覚えたのですが、一方でそこで

生活していた障害のある人たちについて多くの人はピンと来ていなかったのではないかとというのがわたしの印象でした。入所施設で生活している障害者の生活を世間の人とはどれだけ知っているのだろうかという疑問です。

わたしたち社会福祉法人は、その施設で生活している障害のある人たち、作業をがんばっている姿、余暇で楽しそうにしているようすを知っています。しかし知っていますが、それを世間に発信してこなかったのではないかと反省がわたしにはあります。

多くの人たちに私たちが知っている利用者の笑顔、職員との奮闘を日常的に広く発信することができていたら、犯人の言う「生きるに値しない命」に対して、多くの人にもっと現実味をもって対峙してもらったのではないかと考えています。

わらしべ会は障害者乗馬や障害者柔道、就労などの日中活動、絵画、和太鼓などの余暇活動、そして一人暮らしの支援やグループホームなど多彩な事業、活動を展開してきました。これらのなかで利用者などの様に生活を送っているか、ホームペーシやフェイスブック、広報誌などを通じて発信し、世に問うていきたいと思っています。

そのほかの法人の活動方針については次回に繰り越します。

わらしべ会理事長 辻 和也(令和2年9月24日)

